事例No.	184
公表年度	H29
団体の属性	都道府県
団体名	栃木県

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設等総合管理計画 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	民間活用

事例内容・タイトル

終末処理場の包括的民間委託（性能発注方式）

出典

経営戦略策定ガイドライン（下水道事業・先進的取組事例集）

2. 民間活力の活用 （包括的民間委託等）

事例6

○ 事例名等

事例名	終末処理場の包括的民間委託
団体名	栃木県
事業名	流域下水道事業

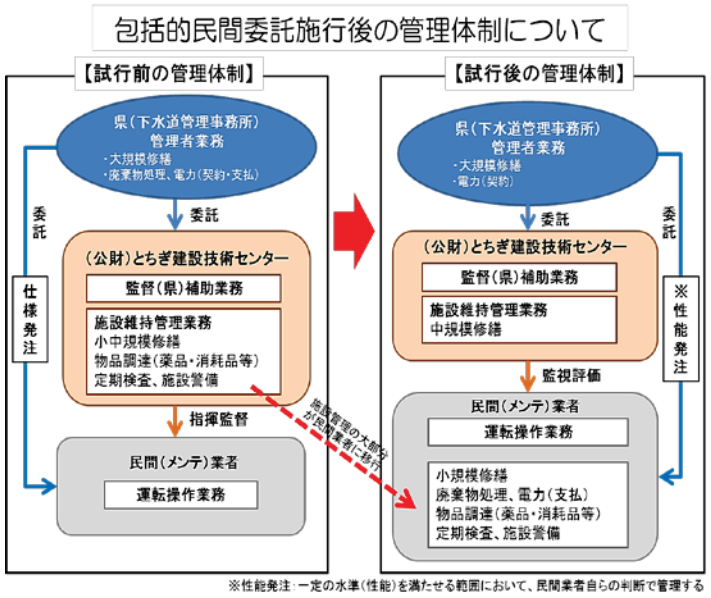
○ 人口・面積・密度

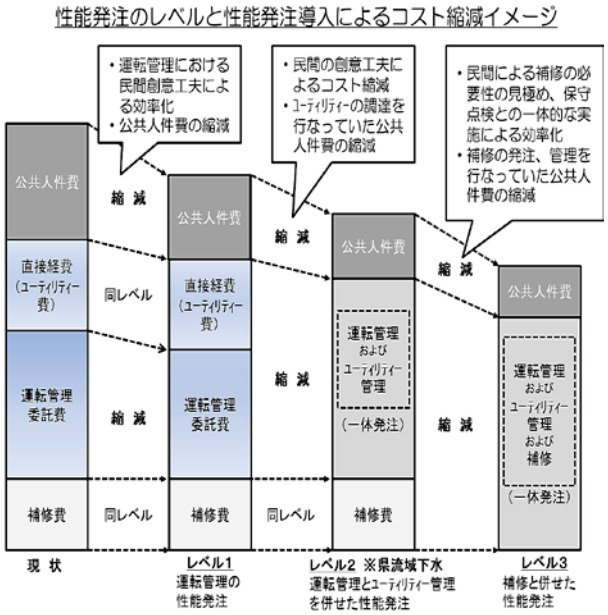
規模データ	人口 人	面積 ha	密度 人/ha
行政区域内	1,406,377	389,333	3.6
処理区域内	470,593	13,542	34.8

1. 背景

○取組みの背景（きっかけ）

下水道整備の推進に伴い、今後維持管理すべき施設が増加していく中で、維持管理の質を確保しながらコストを縮減し、効果的な管理を行うことが厳しい財政状況下における重要な課題となっている。そこで維持管理のよりいっそうの効率化を図るため、民間業者へ委託範囲を拡大すると共に、民間業者の持つ技術力に着目した性能発注方式による包括民間委託を導入した。





2. 内容、効果額等

①施設の全体概要（4流域6処理区）

i 管路	汚水	161 km	ii ポンプ場	12 箇所
	雨水	0 km	iii マンホールポンプ	6 基
	合流	0 km	iv 農業集落排水施設	－ 箇所
	計	161 km	v 浄化槽	－ 基

②事業契約内容等

i 民間委託を導入した施設と内容

浄化センター運転操作業務（ポンプ場・マンホールポンプ含む）

ii 事業の概要

・委託期間：3年

・委託費、委託額

処理区名	鬼怒川上流	巴波川	北那須	県央	大岩藤	思川
契約期間	H26-28	H26-28	H25-27	H27-29	H25-27	H25-27
委託額(百万円)	956	960	875	1,620	567	637

・委託にあたって留意した点等

○流域全体が包括民間委託を導入することによる職員の技術力低下について

性能発注に当たり、下水道事業の技術力を確保するために修繕工事の大半を県が実施し、小規模修繕に限り移行させることとした。

○委託期間を3年間としたこと

2. 内容、効果額等（つづき）

③効果額

実績及び見込み　　単位:百万円

処理場名	思川浄化センター			大岩藤浄化センター			北那須浄化センター		
	性能発注（包括）実績①	仕様発注（従前）試算②	縮減額 ①-②	性能発注（包括）実績①	仕様発注（従前）試算②	縮減額 ①-②	性能発注（包括）実績①	仕様発注（従前）試算②	縮減額 ①-②
3年間実績（H22-24）	752	777	-25	711	732	-21			
3年間実績（H25-27）	1,003	1,017	-14	992	1,007	-15	1,424	1,438	-14

処理場名	鬼怒川上流浄化センター			巴波川浄化センター		
	性能発注（包括）実績①	仕様発注（従前）試算②	縮減額 ①-②	性能発注（包括）実績①	仕様発注（従前）試算②	縮減額 ①-②
3年間見込（H26-28）	1,456	1,464	-8	1,490	1,502	-12

処理場名	県央浄化センター		
	性能発注（包括）実績①	仕様発注（従前）試算②	縮減額 ①-②
3年間見込（H27-29）	2,721	2,731	-10

3. 検討過程等

①スケジュール

包括的民間委託導入スケジュール

流域名	処理場名	供用開始年度 和暦	供用開始年度 西暦	経過年数 2014	保有池数	計画水量 m3/日	導入スケジュール H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H31	H32	備考
鬼怒川上流流域下水道	上流浄化センター	昭和56年度	1981	33	6	72,900					→		→				H26より導入
	県央浄化センター	昭和61年度	1986	28	10	111,900						→		→			H27より導入
巴波川流域下水道	巴波川浄化センター	昭和57年度	1982	32	7	73,400					→		→				H26より導入
北那須流域下水道	北那須浄化センター	昭和58年度	1983	31	6	62,700				→			→				H25より導入
渡良瀬川下流流域下水道	大岩藤浄化センター	平成8年度	1996	18	4	30,400	→		→	→			→				試行期間後、H25より継続
	思川浄化センター	平成9年度	1997	17	4	27,400	→		→	→			→				試行期間後、H25より継続
渡良瀬川上流流域下水道	秋山川浄化センター	平成6年度	1994	20	9	74,500											平成27年度佐野市移管

②議会への説明

H22導入に先立ちH21に議会報告を行っている。

4. 今後の課題・考慮すべき点

・終末処理場の維持管理については、知識や経験に基づく技術力が重要な要素を占めており、包括的民間委託を実施することによって、人件費等の削減が可能となる反面、職員の技術力（維持管理力）の低下が懸念される。
・民間委託の導入に伴う経費縮減と委託業者のインセンティブとのバランス保持に苦慮している。